令和元年度第2回　香美市ものづくり会議　会議録

　　 　　　　　　　　 　　　　令和2年3月17日（火）10:00～11:30

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　香美市役所3階　会議室2

* 会議の出欠

出席委員12名、欠席委員3名

* 分科会の報告と意見交換

土佐打刃物、フラフ、物部川ブランド、ふるさと納税分科会の報告

⇒提案及び意見交換

* 意見交換

１．土佐打ち刃物

【委員】

鍛冶屋創生塾は、香美市の人は受験したのか？研修生への補助はあるのか？

【商工観光課】

香美市の人は受験していない。現在の研修生（1期生）は、香南市、佐川町、神奈川県の出身者で、全員香美市在住。香美市在住であれば、2年間、月15万円の補助を受けることが出来る。

【土佐打刃物分科会】

1期生はみんな熱心で、練習量も多く覚えが早い。研修生が就職、起業するにしても環境整備が必要。土佐打刃物全体として、人材面では伸びていく目処があるが、鋼材、機械などが脆弱なので、今後も議論が必要。

【その他意見】

鍛冶屋創生塾の事務局体制を安定させ、土佐打刃物に精通した事務方の育成が香美市で必要。

創生塾の試験で不採用となった人の対策を考える必要がある。土佐打刃物の世界に入りたい人をそのままにするのは勿体無い。

２．フラフ

【委員】

　フラフの伝統的な部分を守りつつ、商品化の多様性に関して何か議論をしているか？

【フラフ分科会】

　フラフのスカーフを検討中で、事業者に提案している。

　香美市商工会では、国の経営支援計画で、フラフ、土佐打刃物を申請中。今ある技術とフラフのイメージを合わせて新商品を考える。

【その他意見】

山田高校の商業科は、フラフのリメイク商品作りを行っている。ビジネス探究課では、地場産業をテーマに研究をして、地場ものを外にPRすることを積極的に展開する予定。

香美市に移住後、フラフを購入する人は多くないので、工夫が出来そう。自動でフラフを揚げ降ろしできる機械があれば、フラフが広まると思う。

フラフは元々、祖父母が孫に送る応援旗。そのコンセプトで、デザイン性を含め、ミニフラフ作り体験型観光も出来たらと思う。

３．物部川ブランド

【委員】

　イモ類は鳥獣害対策と、重さの関係で車が入る場所での栽培が必要。今回の収穫量はどうか？

【物部川ブランド分科会】

高系イモがつるボケをしたため、収穫量が少なかった。

【委員】

　お茶はどうか？

【物部川ブランド分科会】

　お茶のプレイヤーがいないことがネック。香美市内の土木事業者に協力依頼を検討している。

【その他意見】

お茶のプレイヤーの募集、分科会で商品が出来た際に、ふるさと納税で扱うことも可能。

* 来年度の活動予算

　　土佐打刃物35万円、フラフ25万円、物部川ブランド60万円

* 分科会の方法等の検討

【委員】

委員以外でも必要に応じて、多彩な人材に分科会に参加することは可能か？

【事務局】

　　ふるさと納税分科会や物部川ブランド分科会は、委員以外にも参加している。分科会の中

　で検討いただきたい。

* 新規委員の追加について

　永野圭介氏の委員追加→承認

* その他

第一次産業分科会立ち上げ→承認

出席者名簿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| NO | 団体名 | 委員氏名 |
| 1 | 香美市商工会　会長 | 寺村　勉 |
| 2 | 香美市商工会　事務局長 | 吉村　宏 |
| 3 | 香美森林組合　代表理事組合長 | 石川　彰宏 |
| 4 | 高知工科大学　特任参与 | 浜田　正彦 |
| 5 | NPO法人いなかみ　事務局長 | 近藤　純次 |
| 6 | ㈱土佐山田ショッピングセンター　代表取締役社長 | 石川　靖 |
| 7 | 高知県立山田高等学校長 | 正木　章彦 |
| 8 | 香美市観光協会　代表理事 | 山中　盛世 |
| 9 | 高知県産業振興物部川地域本部　地域産業振興監 | 徳永　浩子（代理） |
| 10 | 企画財政課長 | 佐竹　教人 |
| 11 | 農林課長 | 西本　恭久 |
| 12 | 商工観光課長 | 竹崎　澄人 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 香美市 | 香美市長 | 法光院　晶一 |
| 香美市副市長 | 今田　博明 |
| 香美市教育長 | 時久　惠子 |
| 商工観光課　商工観光班長 | 石元　幸司 |
| 定住推進課　まちづくり班 | 溝渕　真広 |
| 事務局 | 定住推進課長 | 中山　繁美 |
| 定住推進課　定住班 | 村田　理恵 |